

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなろSTEP豊見城		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 4 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 1 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各児童の個性とニーズに応じて、個別支援計画が策定され、効果的に実施されています。これにより、児童一人一人が必要とするサポートを確実に受けられるようになっています。	児童の成長とニーズの変化に応じて、個別支援計画を定期的に評価し、必要に応じて更新します。これにより、常に児童に最適な支援が行えるよう努めています。	もっと家族のニーズが拾えるよう工夫をし、子どもたちだけでなく、家族を含めた支援ができるよう工夫します。
2	施設は常に清潔に保たれ、安全かつ児童に優しい環境が整えられています。事業所の設備も障害特性に応じたバリアフリー設計が施され、児童が安心して過ごせる空間が確保されています。	常に環境設定や衛生面には気を配り、児童が安全に過ごせる環境を維持しています。	児童がより良い環境で学び、成長できるよう支援します。
3	地域の児童館・教育機関との広範な連携を実施しており、児童の多角的な発達支援が行われています。これにより、児童が社会にスムーズに適応できるような支援が可能になっています。	地域の行事にアンテナを張り、児童が地域社会の一員として受け入れられるような支援を推進しています。	地域の教育機関や福祉施設との協働をさらに深め、児童が地域社会においてより多くの学びの機会と支援を受けられるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援へのサポートが充分ではないと感じられています。特に家族全員が参加できるプログラムの機会が少ないため、全家族員のニーズに対応できていない可能性があります。	感染症への配慮などもあり保護者交流ができなかったことが課題。ニーズは高いので工夫し実施したい。	ペアレントトレーニングや家族で参加できる活動機会を設けられるよう検討していきます。
2	地域の児童クラブや児童館との交流機会が限定的であるため、児童が地域社会とのより広範な交流を経験する機会が不足しています。	平日の時間では児童が地域内の他の子供たちと交流する機会が限られています。長期休暇だけではなくどう地域と関わりがもてるかも課題です。	どうしても利用日でない場合保護者への周知が不足してしまうので情報の配信方法を工夫します。
3	緊急時対応訓練に参加できていない家庭があり、すべての保護者が事業所の安全対策について理解しているわけではないようです。	緊急時対応訓練に関する情報がすべての保護者に届いていないことが、認識の低さに影響しています。	児童の利用日でない日に訓練を実施しても情報として共有できるよう情報配信の工夫を行います。